

## 7 理由別長期欠席者数

### (1) 小学校

平成23年度間の30日以上長期欠席者数は、平成22年度間より15人(4.1%)増加の383人であった。全児童数(平成23年度児童数 59,145人)に占める長期欠席者の比率は、全国の0.79%より0.14ポイント低い0.65%で、低い順に全国第16位(前年度第16位)であった。

理由別にみると、「不登校」が201人(構成比52.5%)で最も多く、次いで「その他」が117人(同30.5%)、「病気」が64人(同16.7%)、「経済的理由」が1人(同0.3%)となっている。

なお、全児童数に占める「不登校」の比率は、全国の0.33%より0.01ポイント高い0.34%で、低い順に全国第27位(前年度第24位)であった。

表14 理由別長期欠席者数 (単位：人)

年度間	長期欠席(30日以上)理由				
	計	病 気	経済的 理 由	不登校	その他 *
平成18	411	99	3	233	76
19	389	83	1	236	69
20	379	97	1	207	74
21	330	63	3	195	69
22	368	64	3	187	114
<b>23</b>	<b>383</b>	<b>64</b>	<b>1</b>	<b>201</b>	<b>117</b>

\*「その他」には、「欠席理由が2つ以上(「病気」と「不登校」など)あり主たる理由を特定できない者」や「保護者の無理解・無関心から欠席している者」などが含まれている。

図4 理由別長期欠席者数の推移(30日以上)

